



Title	沖縄関係 沖縄復帰式典（式次第、含叙勲）(5)(沖縄関係叙勲先例 外務省外交史料館レファレンス番号：H250268)
Author(s)	-
Citation	平成25年度外交記録公開(1)No.3 公開日：平成25年10月30日 外務省外交史料館管理番号：B'5.1.0.J/U24 CD・DVD番号：H25-003
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43585
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

沖繩県係叙勳先例

内閣 小田村孝雄 写

儀 第 266 号
昭和 44 年 8 月 26 日

沖縄復帰準備委員会
日本国政府代表 殿

外務大臣

(件名) 米、琉球諸島民政府職員の叙勲について

引用公・電信 7月29日付貴信才441号
日付・番号

1. 沖縄高等傘務官以下米、民政府職員は日本政府の行政権を代行するものでないので、その在任中、単に施政上に成績を挙げたことのみでは叙勲の対象にならないとの方針の下に、かつて、同民政府勤務 Brig. Gen. John G. Ondrick (1959. 7. 1 - 1962年5月まで在任2年11ヵ月)

（捺印は文書書記人）

GA-2-1 外務省

が離任するにあたり、総理府特選局から叙勲方協
議越したが叙勲しなかった。

（従来、高等傘務官以外の米、民政府職員には全然
叙勲していない）

したがって、今回申請があった宮古群島民政官府長
Lt. Col. Juji J. Hada および八重山群島民政官
府長 Lt. Col. Harry K. Fukuhara に対しても叙勲
しないこととするから了承ありたい。

2. 沖縄米、民政府の最高責任者である高等傘務官に
対しては、その在任中、沖縄住民の福祉向上ならびに
日米協力上特に顕著な功績があったものと認められ
る場合には、在日米軍幹部叙勲との均衡上、2年以
上の在任者に限り下記のとおり離任に際し叙勲した。
叙勲例。

GA 4

外務省

(1) 旭日二等、昭和35.12.23付叙勲 (在任2年8ヵ月)

陸軍中將 ドナルド・フレンティス・ブー
(2代目)

(2) 瑞宝一等、昭和41.9.30付叙勲 (在任2年2ヵ月)

陸軍中將 アルバート・ワトソン三世
(4代目)

(3) 瑞宝一等、昭和44.7.17付叙勲 (在任2年)

陸軍中將 フェルディナント・トマス・アングー
(5代目)

参考

叙勲しなかった例

(1) モーア 陸軍中將 (在任10ヵ月)
(初代)

(2) キャラウエー 陸軍中將 (在任3年7ヵ月)
(3代目)